



**小学校改築の経緯
とその必要性**

現在の和寒小学校の校舎は、昭和37年に改築され、築45年が経過しています。

平成17年に町が行った耐震調査では「震度5強で倒壊の恐れがある」と診断され、耐震性が低いことが判明したため、具体的な校舎改築に向けて、町議会特別委員会をはじめPTAで組織する小学校改築検討懇話会などで検討を重ねてきました。

これを受け、町は2月7日に文部科学省に整備計画を申請し、3月6日に認可となりました。また、3月の町議会定例会において補正予算の議決を得て、6月2日の入札後、3日の町議会臨時会で施工業者の決定を行った後、契約着工となりました。

なお、今回は校舎改築工事（1期）の発注となり、屋体改築工事（2期）は来年度となる予定です。



工事の概要

工事名：和寒小学校校舎改築工事（建築主体・電気設備・機械設備）

工事の主な内容：鉄筋コンクリート2階建て 延べ床面積2,776.81㎡ 既存校舎解体
建築主体一式・電気設備一式・機械設備一式

事業費：計 659,925千円 ※内訳はP11の工事で工状況に記載しています。

（国 402,508千円 地方債 254,000千円 一般財源 3,417千円）

工期：平成21年3月25日まで

※財源内訳は現段階の見込みです。

施工業者：

- 建築主体：荒井・近藤JV
- 電気設備：宮武・山口JV
- 機械設備：日進設備工業(株)

工事に関する不明な点は

役場建設課建築係
(TEL32-2421)

教育委員会学校教育係
(TEL32-2477)

までお問い合わせ下さい。

工事期間中は大変危険ですので、
ご注意ください。



和寒小学校完成予想図

工事の主な特徴

平成20年では182名の児童数が在籍している和寒小学校も、教育委員会での試算では、人口減少などに伴い、10年後には156名(26名減)と推測されることから、1学年1学級を基本とした教室の配置としています。

既存のグラウンドは、そのまま使用し、可能な限り緑化スペースを確保することで自然に親しみ、自然を大切にすることを育むことができるよう考慮しています。

普通教室は、全て南向きとすることで、日中の自然光を取り入れ、1階を低学年、2階を中高学年の配置とし、特別支援学級は、1階の職員室の近い配置とすることで、安全面、管理面に配慮した配置となっています。

中央には吹き抜けの多目的ホールを設け、理科室、図工室などと隣接し、実験、実習の場としての機能を発揮できるようにしています。

図書室とコンピューター室を隣接させ、児童自らが書籍やインターネットを活用し、いつでも調査、研究を行うことができるようになります。

音楽室は、防音対策を考慮し、普通教室から離れた位置としています。

職員室、校長室は、児童の登下校の様子やグラウンドを見渡すことのできる配置とし、児童の変化に気付くことのできるよう配置するとともに、不審者対策として来校者が確認できる配置としています。

